

# せとやきっず検定

# せとやきっず 検定

解答

問題15

「瀬戸染付焼」が国の伝統的工芸品に指定されたのはいつでしょう。

- ① 大正9年
- ② 昭和9年
- ③ 平成9年

③

【解説 P 85】「瀬戸染付焼」は平成9年に、国の伝統的工芸品に指定されました。

問題16

一人前の焼き物職人になるために長い間しゅぎょうが必要であることを表す言葉は何でしょう。

- ① 土ねり三年、ろくろ十年
- ② ゆうやく五年、ろくろ千年
- ③ ろくろ三年、焼成十年

①

【解説 P 89】一人前の職人になるためには、長い間しゅぎょうをしなくてはならないので、職人さんは自分のあとをついでくれる人が少なくなっていることにこまっています。

問題17

焼き物を作るとき、ねん土をひきのばしたりするときに使う道具は何でしょう。

- ① たないた
- ② こて
- ③ えんごろ

②

【解説 P 90】こては、焼き物をつくるとき、ねん土をひきのばしたりするときに使う道具です。

問題18

焼き物をつくるとき、湯のみなどの飲み口をなめらかにするために道具は何でしょう。

- ① なめし皮
- ② すりこぎ
- ③ へら

①

【解説 P 90】なめし皮は、焼き物をつくるとき、湯のみなどの飲み口をなめらかにするための道具です。

問題19

ろくろで形をととのえたねん土を、ろくろ台から切りはなすときに使う道具は何でしょう。

- ① のこぎり
- ② はさみ
- ③ しっぴき

③

【解説 P 90】しっぴきは、ろくろで形をととのえたねん土を、ろくろ台から切りはなすときに使う道具です。

問題20

昔、工場からとけて流れ出したねん土で起こったことは何でしょう。

- ① せんたく物が黒くなった
- ② 川が白くなった
- ③ 川が黒くなった

②

【解説 P 91】流れ出たねん土で川が白くなった様子は、瀬戸の焼き物づくりがさかえていた証とも言われてきました。

## 注意事項

- 問題は1～20まであります。
- 答えは黒えんぴつか黒ボールペンで決められた欄に記入してください。
- 携帯電話などの電源は必ず切ってください。
- 1問5点で100点満点です。
- 70点以上を合格とします。



じゅけんばんごう 受験番号	がっこうめい 学校名	がくねん 学年	なまえ 名前
		年	

実施日:平成29年11月23日(木・祝)

瀬戸商工会議所

問題は20問です。正しいと思う答えの番号を1つえらんで、□のなかを書いてください。(例) ①

問題1

ノベルティ・子ども創造館そうぞうかんができたのはいつでしょう。

- ① 昭和15年 ② 平成15年 ③ 平成17年

②

【解説 P 55】ノベルティ・子ども創造館そうぞうかんは、2003年(平成15年)8月にできました。土やねん土を使ったさまざまな体験ができます。

問題2

焼き物やものでできた置物おきもののことを何というでしょう。

- ① ノベルティ ② ファインセラミック ③ がいし

①

【解説 P 55】ノベルティ(焼き物やものでできた置物おきもの)は、昭和のはじめ(約80年前)から瀬戸でさかんにつくられました。

問題3

焼き物をつくる時、ねん土などの表面ひょうめんにかけるとろのようなものを何というでしょう。

- ① ガラス ② 絵の具 ③ ゆうやく

③

【解説 P 57】「ゆうやく」という「うわぐすり」は、高い温度で焼くと、表面ひょうめんにうすいガラスのようなまくができて光ります。

問題4

焼き物をかまで焼くことを何というでしょう。

- ① 焼成 ② 仕上げ ③ いこみ

①

【解説 P 59】焼成は、その日の天気や気温きおんを考えながら行います。

問題5

加藤民吉がまつられている神社はどれでしょう。

- ① 深川神社 ② 窯神社 ③ 陶彦神社(陶彦社)

②

【解説 P 77】窯神社かまがみじんじゃには、江戸時代に九州で磁器じき(焼き物の一種)の作り方を学び、瀬戸の焼き物づくりをふたたびさかんにした加藤民吉がまつられています。

問題6

藤四郎が生まれたのは何時代でしょう。

- ① 鎌倉時代 ② 江戸時代 ③ 明治時代

①

【解説 P 80】藤四郎の本当の名前は加藤四郎左衛門景正かとうしろうざ えもんかげまさといい、今から810年ほど前の鎌倉時代に生まれました。

問題7

藤四郎が道元というお坊さんのおともとして宋(今の中国)にわたったのは何才さいのときでしょう。

- ① 15才 ② 18才 ③ 20才

③

【解説 P 80】自分の作った陶器が中国の焼き物のようにならずにうまく作れないことになやんでいましたが、宋(今の中国)へ行って焼き物の勉強べんきょうをしようと決心けっしんして、20才さいのときに道元というお坊さんのおともとして宋にわたりました。

問題8

藤四郎(陶祖)がまつられている神社は何でしょう。

- ① 陶彦社(陶彦神社) ② 深川神社 ③ 八幡神社

①

【解説 P 81】陶彦社(陶彦神社)は瀬戸で陶器をつくりはじめた藤四郎に感謝して、深川神社の中にたてられました。

問題9

毎年4月に開かれる藤四郎に感しゃをするお祭りは何でしょう。

- ① せともの祭 ② せと陶祖まつり ③ 招き猫まつり

②

【解説 P 81】せと陶祖まつりは毎年4月に行われ、「御物奉獻行列」や「せともの廉売市」などが行われます。

問題10

深川神社にある藤四郎が作ったとされる作品は何でしょう。

- ① 招き猫 ② 狛犬 ③ ふくろう

②

【解説 P 81】藤四郎の作品として今に残っているものは深川神社の狛犬とお神酒つぼだと言われています。

問題11

加藤民吉が磁器を学んだ場所はどこでしょう。

- ① 宋(今の中国) ② 京都 ③ 九州

③

【解説 P 82】九州の天草(熊本県)の寺にいる菱野村(今の幡山中学校の近く)出身しゅっしんの天中という和尚さんをたよって九州に出かけ、高浜の窯元の上田源作を紹介されました。

問題12

加藤民吉が磁器の作り方の秘密を教わった人物はだれでしょう。

- ① 福本仁左衛門 ② 津金文左衛門 ③ 藤四郎

①

【解説 P 83】福本仁左衛門は加藤民吉を娘の婿むすめにしようとするほどかわいがり、瀬戸から勉強べんきょうしに来ていることを聞くと感心して、これまで教えないようにしていたこともすべて教えました。

問題13

染付焼の磁器をつくる時に使うあざやかな青色が出る顔料を何というでしょう。

- ① かいゆう ② ごす ③ えのぐ

②

【解説 P 83】瀬戸の「ごす」はとてもあざやかな青色が出るので、一色で絵付けをしただけでもすてきな「染付焼の磁器」ができます。

問題14

「赤津焼」が国の伝統的工芸品に指定されたのはいつでしょう。

- ① 昭和52年 ② 平成2年 ③ 平成17年

①

【解説 P 85】「赤津焼」は昭和52年に、国の伝統的工芸品に指定されました。